

第 1 2 9 回 幹 事 会

平成 2 3 年 7 月 1 1 日

日 本 学 術 会 議

第129回幹事会（平成23年7月11日（木））16:00～

議事次第

（公開審議）

I 前回議事要旨確認

II 諸報告

III 審議事項

1 委員会関係

提案1 （分野別委員会）
分野別委員会運営要綱の一部改正

提案2 （課題別委員会）
大学教育の分野別質保証推進委員会における分科会の設置及び
分科会委員の決定

2 シンポジウム等

提案3 公開シンポジウム「農医連携による新しい大学教育の展開 ～農学と
医学の融合による魅力的な人材養成～」

提案4 公開シンポジウム「環境調和と経済性を両立させた新しい日本型畜
産への挑戦 ～循環型畜産・エコフィード・飼料米における取り組
み～」

提案5 公開シンポジウム「地球環境・気候変動と農業環境工学」

提案6 公開シンポジウム「口腔顎顔面領域における再生医療の現状と課
題」

提案7 公開シンポジウム「原子力総合シンポジウム2011」

IV その他

（非公開審議）

V 非公開審議事項

1 選考関係

提案8 連携会員候補者の選考

2 委員会関係

提案9 分野別委員会における小委員会委員の決定

提案10 大学教育の分野別質保証推進委員会における分科会委員（特任連携
会員）の決定

提案11 研究にかかわる「評価システム」の在り方検討委員会における
委員（特任連携会員）の決定

資料2

第129回幹事会（7月11日）出席者一覧

会長	広渡 清吾
副会長	大垣 眞一郎
副会長	秋山 弘子
副会長	唐木 英明
第一部 部長	小林 良彰
第一部 副部長	木村 茂光
第一部 幹事	酒井 啓子
第一部 幹事	白田 佳子
第二部 部長	浅島 誠
第二部 副部長	北島 政樹
第二部 幹事	山本 正幸
第二部 幹事	鷺谷 いづみ
第三部 部長	岩澤 康裕
第三部 副部長	後藤 俊夫
第三部 幹事	池田 駿介
第三部 幹事	永宮 正治

事務局長 齋藤 敦

諸 報 告

	ページ
第 1 前回幹事会以降の経過報告	
1 会長等出席行事	1
2 委員会等委員の辞任	1
第 2 各部・各委員会等報告	
1 部会の開催とその議題	1
2 幹事会附置委員会の開催とその議題	1
3 機能別委員会の開催とその議題	2
4 分野別委員会の開催とその議題	2
5 課題別委員会の開催とその議題	6
6 サイエンスカフェの開催	6
7 総合科学技術会議報告	7

第1. 前回幹事会以降の経過報告

1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
6月24日(水)	日本学術会議中部地区会議学術講演会 ※講演	金澤前会長
6月30日(木)	総合科学技術会議有識者会合 ※会長談話についての説明	唐木会長代理
7月1日(金)	緊急講演会「放射線を正しく恐れる」※司会	唐木会長代理
7月4日(月) ～6日(水)	第11回アジア学術会議	唐木会長代理、金澤前会長、飯島次長
7月7日(木)	安全工学シンポジウム2011 ※特別講演	広渡副会長

(注) 部会、委員会等を除く。

2 委員会等委員の辞任

第21期地球惑星科学委員会国際対応分科会SCAR小委員会

小出 正則 (平成23年6月23日付)

第2. 各部・各委員会報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第三部拡大役員会(第37回)(6月23日)

- ①第三部主催公開シンポジウムについて ②平成23年度第三部夏季部会について
③大型研究計画マスタープラン掲載課題について
④大震災・原発事故・今後の対応について ⑤その他

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) 東日本大震災対策委員会放射線の健康への影響と防護分科会(第1回)
(6月24日)

- ①出席者紹介 ②委員長、副委員長、幹事の選出
③今後の分科会の運営について ④その他

(2) 東日本大震災対策委員会放射線の健康への影響と防護役員会(第1回)
(7月1日)

- ①シンポジウムについて ②その他

3 機能別委員会の開催とその議題

- (1) 科学者委員会(第45回)(6月29日)
 - ①協力学術研究団体の指定(各部回答)について
- (2) 科学者委員会男女共同参画分科会(第18回)(7月5日)
 - ①報告「学術における男女共同参画推進の加速にむけて」最終確認について

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

- (1) 史学委員会歴史・考古学資料の情報管理・公開に関する分科会(第3回)(6月25日)
 - ①22期にむけて歴史史資料分科会について ②その他
- (2) 社会学委員会・経済学委員会合同包摂的社会政策に関する多角的検討分科会(第9回)(6月25日)
 - ①報告事項
 - 1) 学術会議活動の動向 2) その他
 - ②協議事項
 - 1) シンポジウムの件(確認) 2) 残された期間の活動について 3) その他
- (3) 地域研究委員会地域情報分科会(第5回)、地域研究委員会地域情報分科会地域の知小委員会(第1回)(6月25日)
 - ①第21期の総括と第22期へ向けての活動について
 - ②その他
- (4) 法学委員会「グローバル化と法」分科会(第12回)(6月26日)
 - ①これまでの検討の取りまとめについて ②次期の分科会のあり方について
 - ③その他
- (5) 法学委員会ファミリーバイオレンス分科会(第8回)(7月1日)
 - ①第21期から第22期に分科会を引き継ぐにあたっての引き継ぎ事項
 - ②その他
- (6) 哲学委員会哲学・倫理・宗教教育分科会(第9回)(7月2日)
 - ①シンポジウム「哲学・倫理・宗教教育はなぜ必要か」の検討
 - ②第21期本分科会活動の総括
 - ③第22期における本分科会のあり方について ④その他

(7) 史学委員会歴史学とジェンダーに関する分科会 (第11回)、史学委員会歴史学とジェンダーに関する公開シンポジウム準備分科会 (第5回) (7月2日)

- ①学術フォーラム「歴史認識を変えるー歴史教育改革とジェンダー」について
- ②その他

(8) 経営学委員会経営学教育の在り方検討分科会 (第7回) (7月3日)

- ①経営学教育の在り方検討分科会の最終報告作成の主要な論点について
 - 1) 経営学の定義
 - 2) 広義の経営学の基での商学・会計学・経営情報学・経営工学の位置と役割
 - 3) 経営学と経済学・社会学・政治学・法学との関連
 - 4) 経営学教育の在り方ー教育課程と教育方法ー
- ②経営学教育の在り方検討分科会の最終報告目次と執筆担当案について
- ③今後のスケジュールについて ④その他

(9) 社会学委員会社会変動と若者問題分科会 (第8回) (7月9日)

- ①シンポジウム打ち合わせ ②今後の方針 ③その他

第二部担当

(1) 歯学委員会歯学教育分科会 (第6回) (6月24日)

- ①歯学教育の改善方策に関する報告書について ②その他

(2) 歯学委員会歯科医療制度に関する検討分科会 (第4回) (6月24日)

- ①第2回シンポジウム(案)について
- ②今期の分科会活動の取りまとめについて ③今後の活動計画について
- ④その他

(3) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同動物科学分科会 (第4回)
(6月24日)

- ①本分科会主催の公開シンポジウム「分類学は旧くて新しいー国立自然史博物館の設立に向けてー」中止について
- ②東日本大震災についての対応 ③その他

(4) 歯学委員会 (第13回) (6月24日)

- ①アクションプラン内容の審議と今後の進め方 ②今後の分科会のあり方
- ③その他

(5) 農学委員会農学分科会 (第7回) (6月25日)

- ①公開シンポジウム「水田稲作を中心とした日本農業の展望と作物生産科学の果たすべき役割」について

②農学分科会の今後の活動について ③その他

(6) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生態科学分科会 (第7回)
(6月28日)

①公開講演会(フォーラム)について

②生態科学分科会からの提言について ③その他

(7) 臨床医学委員会出生・発達分科会 (第3回) (6月29日)

①報告書作成について ②その他

(8) 健康・生活科学委員会 (第11回) (7月1日)

①各分科会報告 ②第二部主催公開シンポジウム報告

③公開シンポジウムまとめと「記録」公開について

④第21期における健康・生活科学委員会活動総括と次期学術会議への申し送り
事項について ⑤会員・連携会委員選考について

(9) 健康・生活科学委員会生活科学分科会 (第19回) (7月5日)

①第3回公開講演会について

②生活科学系コンソーシアム会議について ③その他

(10) 農学委員会・食料科学委員会合同遺伝子組換え作物分科会 (第7回)
(7月7日)

①新しい組換え技術に関する規制のあり方について

②来期の活動について ③その他

第三部担当

(1) 土木工学・建築学委員会社会資本分科会 (第12回) (6月24日)

①話題提供「社会関係資本について」(池田 謙一氏)

②エリアマネージメントに関する議論 ③その他

(2) 地球惑星科学委員会 IGU 分科会 (第10回) (6月27日)

①IGUの動静について ②IYGU(国際地球理解年)について

③UGI 2011 Santiagoについて ④2013年京都国際地理学会議について

⑤地理オリンピックについて ⑥IAG小委員会について

⑦ICA小委員会について ⑧地理関連分科会の活動について

⑨東日本大震災について ⑩その他

(3) 環境学委員会自然環境保全再生分科会 (第4回) (6月28日)

①統合生物学委員会生態科学分科会との共同開催フォーラムについて

- ②分科会の見直しについて
- ③統合生物学委員会生態科学分科会との緊急提言について ④その他

(4) 総合工学委員会 エネルギーと人間社会に関する分科会放射性廃棄物と人間社会小委員会 (第8回) (6月29日)

- ①小委員会の会議記録について
- ②高レベル放射性廃棄物規制支援研究について
- ③福島第一原発で発生する放射性廃棄物と環境の回復 ④その他

(5) 基礎医学委員会・総合工学委員会合同放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会 (第7回) (6月30日)

- ①「原子炉事故緊急対応作業員の自家造血幹細胞事前採取に関する見解について」 ②第二次緊急提言「福島第一原子力発電所事故後の放射線量調査の必要性について」に関連した文科省プロジェクトについて
- ③記録「放射線作業員の被ばくの一元管理」について ④その他

(6) 地球惑星科学委員会 COSPAR 分科会 (第4回) (6月30日)

- ①宇宙科学の現状 ②地球観測の現状 ③COSPAR AWARD
- ④3月のCOSPAR 関連会議の報告 ⑤Decadal survey ⑥ISTS 報告

(7) 総合工学委員会・電気電子工学委員会合同 I ME K O 分科会 (第1回) (7月1日)

- ①分科会名簿確認 ②分科会設置の経緯と趣旨説明 ③役員の選出
- ④ I ME K O の今後の活動について ⑤ I ME K O 分科会の今後の活動について ⑥その他

(8) 地球惑星科学委員会 IUGS 分科会 IPA 小委員会 (第4回) (7月1日)

- ①古生物科学を廻る最近の動きについて 大型研究計画、夢ロードマップなど
- ②国際連携について IPA、IGC、IODP 等の現状
- ③その他 21期の総括と22期への展望

(9) 総合工学委員会原子力事故対応分科会 (第3回) (7月4日)

- ①今後の活動方針についての議論 ②その他

(10) 基礎医学委員会・総合工学委員会合同放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会研究用原子炉のあり方検討小委員会 (第5回) (7月6日)

- ①記録(案)の扱いについて ②その他

(11) 機械工学委員会生産科学分科会 (第9回) (7月7日)

- ①シンポジウムの進め方 ②次期への申し送り事項 ③その他

(12) 材料工学委員会（第4回）材料工学委員会材料工学将来展開分科会（第4回）
合同会議（7月7日）

- ①分科会の活動状況と今後の方針 ②材料連合協議会との連携体制
- ③材料連合講演会の今後 ④材料工学委員会の今後の活動 ⑤その他

(13) 地球惑星科学委員会国際対応分科会 IASC 小委員会（第4回）、SCAR 小委員会（第4回）、国際極年 2007-2008 対応(IPY)小委員会（第6回）合同委員会（7月7日）

- ①IASC 関連の国内外の動向について ②SCAR 関連の国内外の動向について
- ③IPY 関連の国内外の動向について ④学術会議・小委員会の活動について
- ⑤その他

5 課題別委員会の開催とその議題

(1) 研究にかかわる「評価システム」の在り方検討委員会（第4回）（6月23日）

- ①講演（平澤冷 未来工学研究所理事長・東京大学名誉教授）
- ②アンケート調査について ③その他

(2) 高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会（第6回）（6月29日）

- ①講演（渡辺満久 東洋大学社会学部教授）
- ②講演（石橋克彦 神戸大学名誉教授）
- ③今後の進め方について ④その他

(3) 大学教育の分野別質保証推進委員会拡大役員会（第1回）（7月7日）

- ①今後の検討の方向性について ②その他

6 サイエンスカフェの開催

(1) 6月24日（金）19:00～20:30

場 所：文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）

テーマ：百花繚乱のなぞ ～花の見かけは遺伝子で決まる～

講 師：経塚 淳子（東京大学大学院農学系研究科 准教授）

ファシリテータ：渡辺 政隆（日本術会議連携会員、JST エキスパート）

(2) 7月8日（金）18:30～20:30

場 所：文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）

テーマ：「人間」のいのち・細胞を生かす身心一体科学

講 師：跡見 順子（日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授）

ファシリテータ：田原 淳子（日本学術会議連携会員、国士舘大学教授）

7 総合科学技術会議報告

1. 本会議

なし

2. 専門調査会

なし

3. 総合科学技術会議有識者議員会合

6月23日、7月7日 会長不在

審 議 事 項

		頁
Ⅲ 審議事項		
1 委員会関係	提案1 (分野別委員会) 分野別委員会運営要綱の一部改正	1
	提案2 (課題別委員会) 大学教育の分野別質保証推進委員会における分科会の設置及び 分科会委員の決定	3
2 シンポジウム等	提案3 公開シンポジウム「農医連携による新しい大学教育の展開 ～農学と 医学の融合による魅力的な人材養成～」	11
	提案4 公開シンポジウム「環境調和と経済性を両立させた新しい日本型畜産 への挑戦 ～循環型畜産・エコフィード・飼料米における取り組み ～」	13
	提案5 公開シンポジウム「地球環境・気候変動と農業環境工学」	15
	提案6 公開シンポジウム「口腔顎顔面領域における再生医療の現状と課題」	18
	提案7 公開シンポジウム「原子力総合シンポジウム2011」	20

1	
幹事会	1 2 9

提 案

分野別委員会運営要綱の一部改正について

- 1 提 案 者 第三部部長
- 2 議 案 分野別委員会運営要綱の一部改正
- 3 提案理由 下記の分野別委員会における分科会の名称を変更するため、運営要綱を別紙案の通り一部改正する必要があるため。

分野別委員会運営要綱(平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定)の一部を次のように改正する。次表により、改正前欄の掲げる規定をこれに対応する改正後の欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 正 後					改 正 前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
材料工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	材料工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	材料工学委員会・ 総合工学委員会・ 機械工学委員会・ 土木工学・建築学 委員会・ <u>化学委員 会合同グリーン・ イノベーションの 材料分科会</u>	再生可能エネル ギーへの変換にお ける材料開発課 題、エネルギー供 給の低炭素化にお ける材料開発課 題、エネルギー利 用の省エネ化にお ける材料開発課題 (①産業における 省エネルギー②民 生分野における省 エネルギー)、社 会インフラのグ リーン化における 材料開発課題に関 すること	20名以内 の会員又は 連携会員			材料工学委員会・ 総合工学委員会・ 機械工学委員会・ 土木工学・建築学 委員会合同グリー ン・イノベーショ ンの材料分科会	再生可能エネル ギーへの変換にお ける材料開発課 題、エネルギー供 給の低炭素化にお ける材料開発課 題、エネルギー利 用の省エネ化にお ける材料開発課題 (①産業における 省エネルギー②民 生分野における省 エネルギー)、社 会インフラのグ リーン化における 材料開発課題に関 すること	20名以 内の会員 又は連携 会員	

附則

この決定は、決定の日から施行する。

2	
幹事会	1 2 9

提 案

大学教育の分野別質保証推進委員会における分科会の設置及び 分科会委員の決定について

- 1 提案者 (議案(1)について)
大学教育の分野別質保証推進委員会委員長
(議案(2)について)
第一部部長、第二部部長、第三部部長
- 2 議 案 (1) 大学教育の分野別質保証推進委員会設置要綱の一部改正
(新規設置3分科会)
(2) 大学教育の分野別質保証推進委員会における分科会委員の決定(3件)
- 3 提案理由 (1) 大学教育の分野別質保証推進委員会における分科会の設置に伴い、設置要綱を一部改正する必要があるため。
(2) 大学教育の分野別質保証推進委員会における分科会委員を決定するため。

大学教育の分野別質保証推進委員会設置要綱（平成23年6月23日日本学術会議第127回幹事会決定）の一部を次のように改正する。次表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のよう

改 正 後				改 正 前			
(略) 第 4 (略)				(略) 第 4 (略)			
<u>(分科会)</u> 第 5 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。				<u>(新規)</u>			
<u>分科会</u>		<u>調査審議事項</u>	<u>構成</u>	<u>設置期限</u>			
<u>学位に付記する専攻分野の名称の在り方検討分科会</u>		<u>学位に付記する専攻分野の名称の在り方に関すること</u>	<u>2 0 名以内の会員又は連携会員</u>	<u>平成 23 年 12 月 31 日</u>			
<u>言語・文学分野の参照基準検討分科会</u>		<u>言語・文学分野における教育課程編成上の参照基準の検討に関すること</u>	<u>2 0 名以内の会員又は連携会員</u>	<u>平成 24 年 3 月 31 日</u>			
<u>法学分野の参照基準検討分科会</u>		<u>法分野における教育課程編成上の参照基準の検討に関すること</u>	<u>2 0 名以内の会員又は連携会員</u>	<u>平成 24 年 3 月 31 日</u>			
(庶務) 第 <u>6</u> 委員会の庶務は、事務局参事官（審議第一担当）において処理する。				(庶務) 第 <u>5</u> 委員会の庶務は、事務局参事官（審議第一担当）において処理する。			
(雑則)				(雑則)			

第 <u>7</u> この要綱に定めるもののほか、議事の手続その他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。	第 <u>6</u> この要綱に定めるもののほか、議事の手続その他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。
---	---

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

大学教育の分野別質保証推進委員会分科会の設置について

分科会等名：学位に付記する専攻分野の名称の在り方検討分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	大学教育の分野別質保証推進委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会は、学位に付記する専攻分野の名称の在り方について、「一定のルール化を検討するとともに学問の動向や国際的通用性に照らしたチェックがなされるようにする」ことを目的として、平成22年10月4日に「学位に付記する専攻分野の名称の在り方検討分科会」を設置し、そのルール化について検討を行ってきたが、当該委員会においてもその審議課題を継承し引き続き検討を行うため、本分科会を設置するものである。
4	審議事項	○ 学位に付記する専攻分野の名称の在り方 ○ 英文表記の在り方 等
5	設置期間	平成23年7月11日 ～ 平成23年12月31日
6	備考	

大学教育の分野別質保証推進委員会分科会の設置について

分科会等名：言語・文学分野の参照基準検討分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	大学教育の分野別質保証推進委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	平成22年7月22日に大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会が取りまとめ、同年8月17日に文科省に手交した、「回答 大学教育の分野別質保証の在り方について」において、学士課程教育の分野別の質保証のために、各分野の教育課程編成上の参照基準を策定すべきと述べ、その後、言語・文学分野の参照基準について分科会を設置し検討を行ってきたが、当該委員会においてもその審議課題を継承し引き続き検討を行うため、本分科会を設置するものである。
4	審議事項	○ 言語・文学分野における教育課程編成上の参照基準の検討
5	設置期間	平成23年7月11日 ～ 平成24年3月31日
6	備考	

大学教育の分野別質保証推進委員会分科会の設置について

分科会等名：法学分野の参照基準検討分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	大学教育の分野別質保証推進委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	平成22年7月22日に大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会が取りまとめ、同年8月17日に文科省に手交した、「回答 大学教育の分野別質保証の在り方について」において、学士課程教育の分野別の質保証のために、各分野の教育課程編成上の参照基準を策定すべきと述べ、その後、法学分野の参照基準について分科会を設置し検討を行ってきたが、当該委員会においてもその審議課題を継承し引き続き検討を行うため、本分科会を設置するものである。
4	審議事項	○ 法学分野における教育課程編成上の参照基準の検討
5	設置期間	平成23年7月11日 ～ 平成24年3月31日
6	備考	

○ 委員の決定（3件）

（ 大学教育の分野別質保証推進委員会学位に付記する専攻分野の名称の在り方検討分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
藤田 英典	共栄大学教育学部教授、教育学部長	※第一部会員
本田 孔士	京都大学名誉教授	※連携会員

※は大学教育の分野別質保証推進委員会委員。

（ 大学教育の分野別質保証推進委員会言語・文学分野の参照基準検討分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
庄垣内 正弘	京都産業大学文化学部客員教授、 京都大学名誉教授	第一部会員
田口 紀子	京都大学大学院文学研究科教授	第一部会員
川合 康三	京都大学大学院文学研究科教授	連携会員
塩川 徹也	東京大学名誉教授	※連携会員
柴田 翔	東京大学名誉教授	連携会員
鳥飼 玖美子	立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科教授	連携会員
長島 弘明	東京大学大学院人文社会系研究科教授	連携会員
福井 直樹	上智大学外国語学部言語学副専攻教授	連携会員
北原 和夫	東京理科大学大学院科学教育研究科教授	※連携会員

※は大学教育の分野別質保証推進委員会委員。

（ 大学教育の分野別質保証推進委員会法学分野の参照基準検討分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
吾郷 眞一	九州大学大学院法学研究院教授	第一部会員
浅倉 むつ子	早稲田大学大学院法務研究科教授	第一部会員
淡路 剛久	早稲田大学大学院法務研究科教授	第一部会員
池田 眞朗	慶應義塾大学大学院法務研究科教授	第一部会員
磯村 保	神戸大学大学院法学研究科教授	第一部会員
井田 良	慶應義塾大学大学院法務研究科教授	第一部会員

井上 達夫	東京大学大学院法学政治学研究科教授	第一部会員
河野 正憲	福岡大学法科大学院教授	第一部会員
辻村 みよ子	東北大学大学院法学研究科教授	第一部会員
長谷部 恭男	東京大学大学院法学政治学研究科教授	第一部会員
廣渡 清吾	専修大学法学部教授	第一部会員
浦川 道太郎	早稲田大学法学学術院教授	※連携会員
寺田 浩明	京都大学大学院法学研究科教授	連携会員
北村 隆行	京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻教授	※第三部会員

※は大学教育の分野別質保証推進委員会委員。

3	
幹事会	1 2 9

提 案

公開シンポジウム「農医連携による新しい大学教育の展開 ～農学と医学の融合による魅力的な人材養成～」の開催について

1. 提案者 食料科学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主 催： 日本学術会議食料科学委員会畜産学分科会、社団法人日本畜産会
2. 日 時： 平成 23 年 8 月 26 日（金） 16：00－18：00
3. 場 所： 北里大学獣医学部 10 号館 1006 教室
（青森県十和田市、最寄り駅：J R 東北新幹線 七戸十和田駅）
4. 分科会の開催：開催予定

5. 開催趣旨：

農業をとりまく環境の変化や生命科学の急速な発展に伴い、畜産学を含む農学領域の大学教育においても求められる人材像が変わりつつある。農学と医学は、生命科学としての共通性をもちながら、それぞれ独立して発展し教育体系を構築してきた。しかし、環境汚染や資源枯渇、食料危機や人口爆発といった地球的な規模の問題だけでなく、食の安全と健康といった身近な問題に対応するためにも、統合型の思考への切り替えが求められ、分野横断的な連携教育によって問題解決ができる人材育成が大学教育においても重要である。

「農医連携教育」は、農学的視点と医学的視点から問題の解決が図れるユニークなスペシャリストの養成を目指すことができる。そこで、北里大学において取り組まれている農

医連携教育プログラムを紹介すると共に、この分野に関しての造詣の深い専門家にも講演をしていただき、わが国における農学（畜産）教育の新たな展開について議論を深める機会を提供するシンポジウムを開催することとした。

6. 次第

- 主催者側挨拶： 矢野秀雄（日本学術会議第二部会員、独立行政法人家畜改良センター理事長）

- 趣旨と進行の説明：

座長： 陽 捷行（日本学術会議連携会員、北里大学副学長）
向井孝夫（北里大学獣医学部教授）

- 講演：

1. 「農医連携のススメ」（30分）

陽 捷行（日本学術会議連携会員、北里大学副学長）

2. 北里大学動物資源科学科の農医連携教育プログラム紹介（45分）

① 獣医学部動物資源科学科の取り組み

向井孝夫（北里大学獣医学部 教授）

② 医学部医学科の協力姿勢

齋藤有紀子（北里大学医学部 准教授）

③ 農医連携教育の現場（教員報告）

松浦晶央（北里大学獣医学部 講師）

④ 農医連携教育の現場（学生報告）

清宮広貴（北里大学大学院獣医学系研究科 大学院生）

3. 「北里大学の農医連携教育へのエール（仮題）」（30分）

林 良博（日本学術会議第二部会員、東京農業大学農学部教授）

- 総合討論：

座長： 陽 捷行（日本学術会議連携会員、北里大学副学長）
向井孝夫（北里大学獣医学部教授）

- 閉会の挨拶（未定）

7. 関係部の承認の有無：第二部承認

4	
幹事会	1 2 9

提 案

公開シンポジウム「環境調和と経済性を両立させた新しい日本型畜産への挑戦 ～循環型畜産・エコフィード・飼料米における取り組み～」の開催について

1. 提案者 食料科学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主 催 : 日本学術会議食料科学委員会畜産学分科会、社団法人日本畜産学会
2. 日 時 : 平成 23 年 8 月 27 日 (土) 10 : 00－12 : 00
3. 場 所 : 北里大学獣医学部 10 号館 1006 教室
(青森県十和田市、最寄り駅：J R 東北新幹線 七戸十和田駅)

4. 開催趣旨：

わが国の畜産業が置かれている状況は依然として厳しく、環境調和と経済性を両立させた競争力のある産業として発展するための課題は大きい。しかし、近年、循環型畜産の重視やエコフィード・飼料米の利用といった面で、わが国の畜産学・畜産業に新たな展開の兆しが見え始めている。そこで、この領域で活躍している専門家による講演をしていただき、多くの研究者が集う機会に討論を行うことは、今後のわが国における畜産学・畜産業の発展に寄与するものと考えた。また、東日本大震災直後の現時点で、新しい日本型畜産の構築について議論することにも大きな意義があり、今回の学術シンポジウムを開催することとした。

5. 次 第

○ 主催者側挨拶： 柴田正貴（日本学術会議連携会員、社団法人畜産技術協会参与）

○ 趣旨と進行の説明：

座長： 甫立孝一（北里大学獣医学部 教授）

有原圭三（北里大学獣医学部 教授）

○ 講演：

1. 「東日本大震災と資源循環型畜産へのパラダイムシフト
～北里大学八雲牧場の挑戦～」(25分)

萬田富治（北里大学獣医学部 客員教授）

2. 「エコフィード利用による食肉生産」(25分)

入江正和（日本学術会議連携会員、宮崎大学農学部教授）

3. 「環境調和型畜産の技術と経済性」(25分)

鵜川洋樹（秋田県立大学生物資源科学部 教授）

4. 「新たな飼料資源の実用化技術と取り組み事例」(25分)

佐伯真魚（日本大学生物資源科学部 講師）

○ 総合討論：

座長： 甫立孝一（北里大学獣医学部 教授）

有原圭三（北里大学獣医学部 教授）

○ 閉会の挨拶（未定）

6. 関係部の承認の有無：第二部承認

5	
幹事会	1 2 9

提 案

公開シンポジウム「地球環境・気候変動と農業環境工学」の開催について

1. 提案者 農学委員会委員長・食料科学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主 催： 日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会、農学委員会地域総合農学分科会、農学委員会・食料科学委員会合同農業情報システム学分科会、日本農業工学会
2. 日 時： 平成 23 年 9 月 21 日（水） 9:30－12:10、13:30－16:45
3. 場 所： タワーホール船堀・小ホール
（東京都江戸川区船堀 4-1-1）

4. 開催趣旨：

地球環境は温室効果ガスの増加によって変化しつつあり、特に地球温暖化として地表面・海面付近の気温・水温が上昇し、異常気象が多発する傾向にある。このような状況下で、農業生産を安定的に高め、食料自給率を向上させるためには、農業生産環境工学・地域総合農学・農業情報学分野から農業環境の現状を評価し対策を講じる必要があると考えられる。ここでは、新しいシミュレーション法による地球環境や黄砂輸送の評価、温暖化に伴って起こる空中微生物の輸送・伝搬への影響を評価解明するとともに、地球温暖化と異常気象、特に気温上昇と降水変化による農業影響として、水稻の高温障害や夏冬季の高温化による果樹や畑作物への生理生態反応について論議することによって、種々の農業環境対策に資する。併せて、国民への科学技術・情報の還元を図る。

5. 分科会の開催：開催予定

6. 次第

9:30～9:40 開会挨拶

町田武美（日本学術会議連携会員、日本農業工学会会長、茨城大学名誉教授）

趣旨説明：真木太一（日本学術会議第二部会員、九州大学名誉教授、筑波大学北アフリカ研究センター客員教授）

9:40～12:10 第1部：「地球環境と黄砂による農業影響」

(1) 数値モデルを利用した地球環境の解析

真木貴史（気象庁気象研究所 環境・応用気象研究部）

(2) 口蹄疫・麦さび病の黄砂・風による伝播・蔓延について

真木太一（日本学術会議第二部会員、九州大学名誉教授、筑波大学北アフリカ研究センター客員教授）

礪田博子（日本学術会議連携会委員、筑波大学大学院生命環境科学研究科北アフリカ研究センター教授）

森尾貴広（筑波大学国際部講師）

山田パリーダ（筑波大学北アフリカ研究センター研究員）

杜 明遠（(独)農業環境技術研究所上席研究員）

脇水健次（九州大学大学院農学研究院助教授）

八田珠郎（(独)国際農林水産業研究センター加工領域主任研究員）

(3) 黄砂バイオエアロゾルに含まれる微生物群種組成の特徴とその食文化への影響

牧 輝弥（金沢大学自然科学研究科准教授）

小林史尚（金沢大学理工研究域准教授）

柿川真紀子（金沢大学環日本海域環境研究センター助教授）

松木 篤（金沢大学フロンティアサイエンス機構特任教授）

山田 丸（金沢大学医療保健研究域）

岩坂泰信（金沢大学フロンティアサイエンス機構特任教授）

(4) 黄砂とともに長距離移動する微生物

岩坂泰信（金沢大学フロンティアサイエンス機構特任教授）

13:30～16:45 第2部：「地球温暖化による農業影響とその対応策」

(5) 地球温暖化による水稻の高温障害の発生と対応策

丸山篤志（農研機構・九州沖縄農業研究センター主任研究員）

(6) 地球温暖化が果樹生産に及ぼす影響

杉浦裕義（農研機構・果樹研究所研究員）

（7）北海道・十勝地方の気候変動と野良イモの問題および対策技術開発

広田知良（農研機構・北海道農業研究センター研究員）

（8）温暖化に伴う降雨の変動と畑作物における対応技術

黒瀬義孝（農研機構・近畿中国四国農業研究センター研究員）

16:00～16:40 総合討論

座長：鈴木義則（日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授）

16:40～16:45 閉会挨拶

橋本 康（日本学術会議連携会員、愛媛大学名誉教授）

7. 関係部の承認の有無：第二部承認

6	
幹事会	1 2 9

提 案

公開シンポジウム「口腔顎顔面領域における再生医療の現状と課題」の開催について

1. 提案者 歯学委員会委員長
2. 提 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主催：日本学術会議歯学委員会、日本矯正歯科学会
2. 後援：日本医歯薬アカデミー
3. 日時：平成 23 年 10 月 18 日（火）14:30～16:30
4. 場所：名古屋国際会議場 2 号館 1 階セミナー会場
（名古屋市熱田区熱田西町 1 番 1 号）
5. 委員会の開催：委員会開催予定
6. 開催趣旨

歯科医療においては、歯・骨・軟骨などの硬組織欠損という疾患の特徴から、従来、人工生体材料を用いた治療方法を確立し、臨床応用が発展してきた。一方、自己の組織を再生して組織や臓器の機能をとりにどすことを可能とする再生医療は、次世代の医療として期待の高まっている医療技術である。我が国において、この 10 年余り、幹細胞を使った再生医療や創薬利用の実現のために、多方面への応用が期待される多能性幹細胞として、ES 細胞、組織幹細胞、さらに、iPS 細胞を用いた研究が活発に推進されている。しかし、医療への応用には種々の多面的な問題点の解決が必要である。本シンポジウムでは、日本矯正歯科学会との共催により、口腔顎顔面領域における再生医療として、骨軟骨再生医療、

歯周組織再生療法、歯の再生治療に関する基礎研究から臨床応用への戦略に関して、現状と課題、展望についての議論を深めたい。

7. 次第

開会の挨拶

14:30~ 渡邊 誠（日本学術会議第二部会員、歯学委員会委員長、東北福祉大学総合福祉学部教授・感性福祉研究所副所長）

後藤 滋己（日本矯正歯科学会大会長、愛知学院大学歯学部教授）

座長 山本 照子（日本学術会議連携会員、東北大学大学院歯学研究科教授）
野口 俊英（日本学術会議連携会員、愛知学院大学歯学部教授）

14:40~15:05 (1) 「骨軟骨再生医療の現状と展望」

高戸 毅（日本学術会議第二部会員、東京大学大学院医学系研究科教授）

15:05~15:30 (2) 「歯周組織再生療法の現状と課題」

村上 伸也（大阪大学大学院歯学研究科教授）

15:30~15:55 (3) 「未来の歯科治療としての歯科再生医療」

辻 孝（東京理科大学総合研究機構教授）

15:55~16:30 (4) 総合討論

閉会の辞 米田俊之（日本学術会議第二部会員、大阪大学大学院歯学研究科教授）

8. 関係部の承認の有無：第二部承認

8	
幹事会	1 2 9

提 案

公開シンポジウム「原子力総合シンポジウム 2011」の開催について

1. 提案者 総合工学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催： 日本学術会議総合工学委員会
2. 共 催： 日本原子力学会ほか
3. 日 時： 平成 23 年 10 月 19 日（水）10 時～17 時
4. 場 所： 日本学術会議講堂
5. 委員会等の開催：原子力事故対応分科会を開催予定
6. 開催趣旨：主調テーマを「東日本大震災における原子力災害」として、中長期的視点から福島第一原子力発電所事故の状況、今後の地域復興に関わる進め方の提示、原子力とその安全に関わる再構築等について、学術会議と関連学協会が協力し、各界の識者を交えて総合的に議論する。
7. 次 第：
 - 10:00～10:05 開会の辞
矢川元基（日本学術会議第三部会員、総合工学委員会委員長、東洋大学大学院工学研究科教授）
 - 10:05～10:10 挨拶 日本学術会議会長（依頼予定）
 - 10:10～10:40 原子力災害に関わる提言

- 成合英樹（日本学術会議連携会員、筑波大学名誉教授）
- 10:40～11:10 原子力事故評価と今後の対応
- 11:10～11:40 地震と津波評価
- 入倉幸次郎（日本学術会議連携会員、京都大学名誉教授、
愛知工業大学客員教授）
- 11:40～13:00 昼休み
- 13:00～13:40 特別講演
- 13:40～14:10 放射線の分布と影響
- 柴田徳思（日本学術会議連携会員、日本原子力研究開発機構
J-PARC 客員研究員）
- 14:10～14:40 放射線・放射能と除去回復
- 14:40～14:50 休憩
- 14:45～16:55 パネルディスカッション
- テーマ：原子力事故の収束と被災地域の回復
- パネリスト：笠木伸英（日本学術会議第三部会員、機械工学委員会委員長、
東京大学大学院）
- 木下富雄（（財）国際高等研究所フェロー、京都大学
名誉教授）
- 松岡猛（日本学術会議連携会員、宇都宮大学工学部機械システ
ム工学科 教授）
- 山地憲治（日本学術会議第三部会員、（財）地球環境産業技術研
究機構(RITE)理事・所長）
- 広瀬忠弘（東京女子大名誉教授）
- 16:55～17:00 閉会挨拶 田中 知（東京大学大学院工学系研究科教授）

8. 関係部の承認の有無：第三部承認済み